

第1部 地域学とは何か		
1回	4月12日	①スタッフ紹介とオリエンテーション ②講義「今、なぜ地域か」:柳原邦光(副学部長)
2回	4月19日	中原計(准教授) 地域における自然環境と暮らし
3回	4月26日	藤井正(学部長)・柳原邦光(副学部長)・山根俊喜(副学部長) 地域学とは何か

## 【第1回レポート(5月10日講義終了時提出・20点)】課題:地域学とは何か

1~3回の講義のポイントを要約するとともに、テキスト『地域学入門』の序章~第4章を読んで自分なりに「地域学」について考えてまとめる。家族や友人に「地域学部って何?」と尋ねられた時に少しでも説明できるようになりましょう。

・体裁:A4版横書1枚、40字×43行、最初の3行に「タイトル」「コース・学生番号」「氏名」を記載。本文は40行以内とします。

第2部 大学から地域へ(教員・学生の活動紹介)			
4回	5月10日	土井康作(教授) ◆レポート提出日	ものづくり道場の実験と因幡の手づくりまつり
5回	5月17日	野田邦弘(教授)	学生の力が地域を変える~歴史的建築物や空き店舗を活用したプロジェクト
6回	5月24日	西岡千秋(芸文センター長)、 小林勝年(子どもセンター長)	「附属芸術文化センター」の地域における取り組み、 「附属子どもの発達・学習センター」の地域における取り組み
7回	5月31日	柳静我(准教授)	海外実践プログラムの取り組み(仮)
8回	6月7日	学生(3年)	地域調査実習報告

## 【第2回レポート(6月21日講義終了時提出・40点)】課題:大学が取り組む地域研究や地域連携活動の意義と可能性

・4~8回の講義において紹介された取組のポイントを簡潔に整理したうえで、教員・学生が実践する地域研究や地域連携活動が地域社会に与えた意義を考察するとともに、大学が地域研究や連携に力を入れることでどのような可能性が拓けるかを論じなさい。

・テキスト『地域学入門』の他に、必ず1冊以上文献を読んで、レポートに活かすこと(レポートの末尾に必ず参考文献・URLを記載のこと)

・体裁:A4版横書1枚の両面印刷、40字×43行、最初の3行に「タイトル」「コース・学生番号」「氏名」を記載。

第3部 実践の知に学ぶ			
9回	6月14日	佐々木亨(釜石市危機管理監)+塩沢(准教授)	釜石市における震災復興の取り組み
10回	6月21日	山内道雄(海士町長)+竹川(准教授) ◆第2回レポート提出日	地域の生き残り戦略
11回	6月28日	岡部太郎(一般財団法人たんぽぽの家 常務理事)+五島(教授)	ソーシャルデザインとエイブルアート
12回	7月5日	砂川孝夫+岡村(准教授)	記録と記憶を今に伝える手法と手順
13回	7月12日	手嶋千恵里(南部町教育委員会 コミュニティ・スクールディレクター)+武田(講師)	コミュニティスクールの挑戦
14回	7月19日	長尾裕昭(株式会社ふるさと鹿野)+多田(教授)	ソーシャルビジネス(仮)

## 【第3回レポート(7月26日講義終了時提出・40点)】課題:地域研究と「地域づくり」「人づくり」

・地域学部では地域の研究を基礎に「地域づくり」や「地域における人づくり」に取り組む志と能力のある人材を養成します。9~14回の講義内容を簡潔に整理したうえで最も印象に残った実践をひとつ挙げ、将来どのような「地域づくり(人づくり)」に取り組んでみたいか、または在学中にどのような地域研究を学習・研究してみたいかを述べなさい。

・テキスト第3部(第9~12章)の他に1冊以上文献を読んでレポートに活かすこと(末尾に参考図書を記載すること)。

・体裁:A4版横書1枚の両面印刷、40字×43行、最初の3行に「タイトル」「コース・学生番号」「氏名」を記載。おおよその配分量は、表が講義の整理、裏は印象に残った実践と自分が取り組みたい実践・研究に関する論述+参考文献やURL。

第4部 全体の振り返り・まとめ		
15回	7月26日	総合討論+まとめ、フィールドワークの紹介 ◆第3回レポート提出日

◎コーディネーター/チーフ:鈴木(人間形成)、サブ:中原(国際地域文化)

◎学科担当教員/竹内(地域創造)、河合(人間形成)、岡村(国際地域文化)

◎TA/ ( )・( )

◎1講義(90分)の配分=冒頭15分:予習事項の発表+60分:講師の講義+15分:質疑応答&感想文記入

◎終了時出席票を兼ねた感想文を毎回提出する。4回以上欠席の場合は未履修扱いとします。遅刻・欠席のないように!